

## 地域環境研究分野(総合)

### 委員会からの主要意見

#### 現状についての評価・質問等

- 限られた人的資源(研究員数)で地域環境に係る広範な研究テーマに取り組んでおり、論文数の増加も含めて成果が上がっている。[事後]
- 過去 5 年間の間に、格段の進展があったと言える。地域を軸に極めて広い範囲の問題に取り組んでいる。[事後]

#### 今後への期待など

- 次の展開に向けて、NIES の地域センターが優先して取り組むべきテーマ、社会にインパクトをもたらすテーマについて、適切に選択していくためのコンセプトとプロセスについての検討が必要になろう。[年度]
- アジア地域の排水処理技術開発やメコン川流域モデル研究からPM研究などを主要課題としてきた地域環境研究の再定義が必要になっているように思う。[事後]

### 主要意見に対する国環研の考え方

- ①研究成果が上がっていると評価して頂きありがとうございます。
- ②研究の進展を高く評価して頂きありがとうございます。
- ③適切なお指摘を頂きありがとうございます。(i)短期的にインパクトを与えるテーマ、(ii)長期的にインパクトを与えるテーマ、(iii)基盤的研究力を維持・向上させるテーマ、等を組み合わせるコンセプト(基準)、およびその具体的な実行プロセス等について検討していきます。
- ④ご指摘の通り、「地域環境研究」については再定義、少なくとも明確な定義付けが必要であると自覚しております。今後、検討していきます。